

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 中部山岳国立公園魅力増進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部環境企画課自然公園係 電話番号：058-272-1111 (内 2698)

E-mail： c11265@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 19,763 千円 (前年度予算額： 29,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	29,000	10,121	0	0	0	0	6,128	0	12,751
要求額	19,763	5,316	0	0	0	0	5,773	0	8,674
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

近年、中部山岳国立公園 (本県) の入込者数が減少し、国立公園及び周辺地域の活力の低下が懸念されている。こうした状況に対処するため、平成 29 年度に、活性化の基本方針となる「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本構想」「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画」を策定した。

平成 30 年度から、県、高山市、地元関係団体と「岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会」を設立し、連携して本地域の魅力造成や発信の取組みを開始した。こうした取組みを継続するとともに、積極的に展開する必要がある。

<入込者数>

平成 22 年度：約 128 万人 → 平成 30 年度：約 104 万人 (▲17%)

(2) 事業内容

中部山岳国立公園の魅力増進を図るため、以下の事業を行う。

①活性化地域協議会負担金 12,500 千円

県と高山市が連携して協議会を設立し、基本計画の進捗管理を行うほか、活性化に向けた具体的な活動を地元関係団体と連携して実施する。

ア 活性化地域協議会運営費 1,549 千円

- ・協議会の運営
- ・協議会総会、幹事会、部会の開催
- ・勉強会、研修会の実施

イ 活性化地域協議会活動費 10,951 千円

県・高山市と地元が一体となって活性化を図るため、飛騨山脈ジオパークの認定取得及び乗鞍岳エコツアーリズムの認定取得を推進し、地域と連携した自然体験プログラムの試行、魅力発信、誘客イベント等を継続実施

a 地域一体となった魅力造成事業

- ・本地域におけるジオパーク構想の推進、ガイド人材育成
- ・乗鞍岳におけるエコツアーリズムの導入、ガイド人材育成
- ・星空観察会、自然観察教室等地元関係団体連携事業

b 自然を活用した誘客イベント事業

- ・散策コースを使った自然、温泉、食のフォトラリーの実施
- ・自然体験ツアーの実施

c 魅力発信事業

- ・HP等を活用したPR事業

d 地域内周遊性造成事業

- ・超小型EVカーや電動アシスト付き自転車を活用したアクティビティ造成

e 環境教育事業

- ・中部山岳国立公園をテーマとした大学や地元学校の研究を募集
- ・中部山岳国立公園をテーマとした発表会の実施

②環境教育利用の推進 5,773 千円

県内外小中学校の乗鞍岳等における自然体験学習促進のため、公園内及び周辺エリアの資源を活用した環境教育旅行を実施

(3) 県負担・補助率の考え方

同公園の魅力増進を図るため、県及び高山市が主体的に取り組む必要がある事業であり、両者の負担により主たる事業を実施。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	1,017	業務旅費
需用費	191	消耗品、公用車燃料費
役務費	37	郵送費
使用料	245	公用車 ETC、会議室使用料
業務委託料	5,773	環境学習の実施
負担金	12,500	岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金
合計	19,763	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略（Ⅲ－5「まちをつなぐ」）
岐阜県中部山岳国立公園活性化基本構想（平成29年7月策定）
岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画（平成30年1月策定）

(2) 国・他県の状況

国（環境省）

：国立公園満喫プロジェクト（平成28年度～）

平成28年、国立公園満喫プロジェクトの対象8公園に準じる公園とされた。

(3) 後年度の財政負担

・県、高山市、地元関係団体間で役割分担しながら実施する。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県、高山市

・中部山岳国立公園の魅力である貴重な自然環境を発信し、入込者の増加を図ることで、地域全体の活性化を図ることを目的とするものであり、県負担は妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

- 新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
H29年度に策定した、岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画に基づき、活性化の取組を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

天候や社会情勢など様々な要因により入込数が変動するため、指標は置かない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
乗鞍岳で自然体験プログラムを実施。（約 1453 人）
奥飛騨温泉郷で星空観察会を実施。
協議会に乗鞍岳のエコツーリズムの導入に向けた検討部会を設置
協議会の公式HP、SNSを開設

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
乗鞍岳において、年々減少を続けてきた入込数が、H30年度には7月の豪雨災害による高山本線の不通や9月の台風による悪影響を受けながらも、前年より増加したものの、前年は全体の天候が悪く減少となった。
(H29 104,253人 H30 105,535人 101.2%増 R1 102,094人 94.74%)

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	国は、国立公園満喫プロジェクトにおいて、2020年における国立公園の外国人入込者数を2,000万人とする目標を掲げており、当該施策に沿った事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) △	中部山岳国立公園及び乗鞍岳の入込数は、新型コロナウイルス感染症及び令和2年7月豪雨災害により大きく減少し、回復に向けた取組みを図る必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) △	県・市等による活性化推進協議会の設置により、各関係団体間の課題共有や横の連携が可能となり、事業の効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 国立公園の最大の魅力である自然環境に対する影響を十分に考慮しながら、取組みを進める必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 活性化の検討過程において、有識者や地元関係者から、国立公園の活性化に向けたプログラムの開発等に対して多くの意見や要望が寄せられた。 地元関係者と連携して、課題や役割分担のあり方について継続的に議論しながら、活性化に向けた取組みを継続的に進めることとする。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	

